

ペケレ山ガイドマップ



阿寒摩周国立公園

ペケレ山の特徴

ペケレ山周辺の山地は新第三紀の安山岩や玄武岩などの古い堆積地層が分布しています。長い年月をかけて川などに浸食され、軟らかい地層はよく削られて低くなり、固い地層はなかなか浸食されず少し高くなることで、当別川の南ではシケレベ（志計礼辺）山、弟子屈市街側にはピラオ（美羅尾）山、そして奥春別小学校の裏手にはペケレ山として山地が形成されました。また、ペケレ山はアイヌ語でペケレ（明るい）エワ（高台）と呼ばれ、この山のふもとには猛毒のブシ（トリカブト）があるとされています。



ペケレ山頂上からのパノラマ 「屈斜路カルデラ」

屈斜路カルデラは長径 26 km、短径 20 kmと世界でも最大級の大きさを誇るカルデラです。カルデラとはスペイン語で「鍋」を意味しており、ペケレ山から屈斜路カルデラの方角を見るとその形をよく確認することができます。

遠くには屈斜路湖と屈斜路カルデラの外輪山でもっとも高い藻琴山、そのカルデラの中にある硫黄山などから形成されているアトサヌプリカルデラも見ることができ、外輪山にある展望台とはまた違った風景を楽しむことができます。



ペケレ山頂上からのパノラマ 「根釧台地」

根釧台地は別海町、中標津町、標津町にかけて広がり、およそ 5000 平方kmにも及び火山灰層に覆われた国内最大の台地です。その台地の向こうには釧路などの町があり、特に夏は障害物の無いその方向から南風に乗って移動してくる霧が屈斜路カルデラ内に流れ込んで行きます。すると、霧がカルデラの外輪山でせき止められるため、霧が外輪山の中でとどまり雲海などを見ることができるのです。



ペケレ山頂上からのパノラマ 「阿寒方面」

ペケレ山は阿寒国立公園「阿寒地域」と「川湯地域」の中間に位置しているため、川湯地域の中では一番近くに雄阿寒岳（右）と雌阿寒岳（左）を見ることができます。

天気がよく、空気もとても透きとおる日にはペケレ山頂上からのパノラマ風景をぜひ一度見に来てはいかがでしょうか。



川湯ビジターセンター



開館日/開館時間

4月～10月 8:00～17:00

11月～3月 9:00～16:00

休館日 毎週水曜日（7月第3週～8月31日は無休、水曜祝日の場合は翌日）・年末年始（12月29日～1月3日）

入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉 2-2-6

TEL 015-483-4100 FAX 015-483-4111

URL <https://www.kawayu-eco-museum.com/>

※スタッフによる手作りのため、多少実際の登山道や植物などと異なる場合がございます。

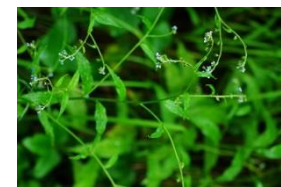
この山で見られるお花や生きものたち



フデリンドウ
(5～6月)



ホソバイワベンケイ
(7～8月)



オニルリソウ
(7～8月)



アサツキ
(6～8月)



キツリフネ
(6～7月)



エゾシカ



チシマフウロ
(6～8月)



カラマツソウ
(6～7月)



ミゾホオズキ
(6～8月)



クルマユリ
(6～8月)



ダケカンバ



キタキツネ



ハクサンチドリ(6～7月)



ウツボグサ
(6～8月)



エゾノカワラマツバ
(6～8月)



イブキジャコウソウ
(7～9月)



カラマツ



エゾリス